平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名　東邦化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4409　URL　http://www.toho-chem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中崎　龍雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長　(氏名) 井上　豊　TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日　平成25年8月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,390	△4.6	△50	―	104	15.8	58	68.5
25年3月期第1四半期	8,791	1.1	187	△49.1	90	△66.1	34	△72.3

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　368百万円　(216.2%)　25年3月期第1四半期　116百万円　(△55.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.76	―
25年3月期第1四半期	1.64	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	44,228	9,378	21.1
25年3月期	44,183	9,138	20.5

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　9,312百万円　25年3月期　9,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	6.00	6.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,900	2.0	290	△40.3	520	67.5	280	61.0	13.12
通期	37,000	5.2	860	△30.8	870	△22.8	450	△36.4	21.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
連結業績予想の修正については、本日(平成25年8月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	21,350,000 株	25年3月期	21,350,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	15,421 株	25年3月期	15,297 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	21,334,672 株	25年3月期1Q	21,335,053 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間の我が国経済は、アベノミクスの政策効果もあって個人消費や設備投資などのマクロの景気指標は徐々に改善方向となっていますが、実体経済への波及はまだ限定的であり、企業業績の回復にもバラツキがみられます。

化学業界においては、石油化学製品の国内需要が依然低迷し、また、海外需要も、円安にかかわらず、中国をはじめ新興国経済の成長鈍化などから回復は力強さに欠け、厳しい経営環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、新製品を梃子とした販売拡大に注力してまいりましたが、製品需要が総じて低調に推移し、全セグメントで苦戦を強いられました。

また、利益面においても、円安に伴う原材料価格の上昇に対し価格是正の遅れにより、収益の悪化を余儀なくされました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比４億円、4.6％減収の83億90百万円となりました。利益面では、営業利益は、売上高の減少と原材料価格値上がりによる採算悪化から、50百万円の損失（前年同期は営業利益１億87百万円）となりましたが、経常利益は、円安による為替差益もあって前年同期比14百万円増益の１億４百万円、四半期純利益は、前年同期比23百万円増益の58百万円となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

（界面活性剤）

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用基剤が低調に推移し減収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤が振るわず減収となりました。土木建築用薬剤はコンクリート用関連薬剤等が引き続き堅調に推移し増収となりました。紙パルプ用界面活性剤は消泡剤などの落ち込みを主因に減収となりました。農薬助剤は、乳剤用などの海外需要向けが振るわず減収となりました。繊維助剤は、染色助剤などが伸長し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比２億１百万円、4.2％減収の46億23百万円となり、セグメント利益は、前年同期比２億２百万円減益の28百万円となりました。

（樹脂）

石油樹脂は、大口ユーザーサイドの定修の影響により大幅な減収となりました。合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂や接着剤用向けなどが振るわず減収となりました。樹脂エマルションは、若干の減収でした。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比１億50百万円、16.8％減収の７億44百万円となり、セグメント損失は、52百万円（前年同期はセグメント利益６百万円）となりました。

（化成品）

合成ゴム・ＡＢＳ樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外販売向けが低調で減収となりました。石油添加剤は油水分離剤が振るわず、金属加工油剤は主力の水溶性切削剤が低調に推移し、共に若干の減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比29百万円、2.7％減収の10億51百万円となり、セグメント損失は、16百万円（前年同期はセグメント利益24百万円）となりました。

（スペシャリティーケミカル）

溶剤は、電子材料用は低調でしたが、ブレーキ液用などが伸長し増収となりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、開発品は堅調に推移しましたが、既存製品の一時的な出荷時期のずれの影響により減収となりました。アクリレートは、海外販売向けが振るわず減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比21百万円、1.1％減収の19億49百万円となり、セグメント損失は、82百万円（前年同期はセグメント損失60百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末の総資産は442億28百万円と前期末比44百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が１億65百万円減少の224億17百万円、固定資産が２億10百万円増加の218億10百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が１億79百万円の減少、受取手形及び売掛金が１億11百万円の減少、たな卸資産が78百万円の増加です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が62百万円の増加、無形固定資産が69百万円の増加、投資その他の資産が77百万円の増加です。

一方、負債合計は、348億49百万円と１億95百万円の減少となりました。主な増減要因は、流動負債で支払手形及び買掛金が１億27百万円の減少、短期借入金が３億82百万円の増加、未払法人税等が２億14百万円の減少、賞与引当金が１億92百万円の減少、その他が設備関係支払手形を主因に１億92百万円の増加、固定負債で長期借入金が２億51百万円の減少です。

純資産は、93億78百万円と２億40百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が配当金の支払と四半期純利益との差額の69百万円の減少、その他の包括利益累計額が為替換算調整勘定を主因に３億４百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は21.1％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第１四半期累計期間の売上高は、一過性の要因も重なり低調に推移いたしました。この影響と原材料価格の上昇に対する価格是正の遅れにより、利益面では予想を大幅に下回りました。

第２四半期以降、業績は回復に向かう見通しですが、平成25年５月10日に公表いたしました第２四半期累計期間並びに通期の業績予想の利益の数値を下回る見通しです。

なお、本連結業績予想の修正に関しましては、個別業績予想の修正も含め、別途、本日（平成25年８月９日）付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しておりますのでご参照ください。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,339	5,159
受取手形及び売掛金	9,214	9,103
たな卸資産	7,303	7,382
その他	726	772
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,583	22,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,963	6,967
機械装置及び運搬具（純額）	2,764	2,727
土地	3,281	3,281
建設仮勘定	3,619	3,774
その他（純額）	1,461	1,403
有形固定資産合計	18,091	18,154
無形固定資産	737	807
投資その他の資産	2,771	2,848
固定資産合計	21,600	21,810
資産合計	44,183	44,228

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,394	7,266
1年内償還予定の社債	1,200	1,100
短期借入金	5,301	5,683
未払法人税等	226	12
賞与引当金	332	139
その他	2,244	2,436
流動負債合計	16,698	16,638
固定負債		
社債	4,720	4,820
長期借入金	9,117	8,865
退職給付引当金	2,929	2,966
役員退職慰労引当金	134	108
資産除去債務	55	55
その他	1,389	1,394
固定負債合計	18,346	18,211
負債合計	35,045	34,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,974	5,904
自己株式	△3	△3
株主資本合計	8,621	8,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	303	357
為替換算調整勘定	151	402
その他の包括利益累計額合計	454	759
少数株主持分	61	66
純資産合計	9,138	9,378
負債純資産合計	44,183	44,228

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	8,791	8,390
売上原価	7,574	7,312
売上総利益	1,216	1,078
販売費及び一般管理費	1,028	1,128
営業利益又は営業損失（△）	187	△50
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	19
為替差益	－	230
その他	13	17
営業外収益合計	33	267
営業外費用		
支払利息	90	79
その他	40	31
営業外費用合計	130	111
経常利益	90	104
特別損失		
固定資産廃棄損	0	20
投資有価証券評価損	10	－
特別損失合計	11	20
税金等調整前四半期純利益	78	84
法人税等	42	26
少数株主損益調整前四半期純利益	35	58
少数株主利益又は少数株主損失（△）	1	△0
四半期純利益	34	58

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	35	58
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61	54
為替換算調整勘定	141	255
その他の包括利益合計	80	309
四半期包括利益	116	368
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	111	363
少数株主に係る四半期包括利益	4	4

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,825	894	1,080	1,970	8,771	19	8,791	－	8,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	54	54	△54	－
計	4,825	894	1,080	1,970	8,771	74	8,845	△54	8,791
セグメント利益又は損失（△）	231	6	24	△60	201	10	212	△24	187

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△24百万円には、棚卸資産の調整額△５百万円等が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	4,623	744	1,051	1,949	8,369	21	8,390	－	8,390
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	56	56	△56	－
計	4,623	744	1,051	1,949	8,369	78	8,447	△56	8,390
セグメント利益又は損失（△）	28	△52	△16	△82	△123	15	△108	57	△50

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額57百万円には、棚卸資産の調整額117百万円等が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書計上額の営業損失（△）と調整を行っております。